

## 文化協会都路支部

### 秋の日の楽しいひととき

田村市文化協会都路支部は9月25日、特別養護老人ホーム 都路まどか荘を訪問し、入所者やデイサービス利用者に明るさと元気を与えるため、慰問活動を行いました。支部会員が歌や踊りを披露すると、一緒に口ずさんだり手拍子を打ったりして、会場は盛り上がりました。

最後に、支部長から都路まどか荘へお土産が、支部会員からは自分で育てた花が贈られました。



## 敬老会 笑顔と拍手で祝う

市内12会場で9月20日、74歳以上の方を招待した敬老会が開かれました。市長からのお祝いのあいさつに続き、敬老祝金、記念品の贈呈などが行われました。また、88歳の米寿の方には賀寿と記念品が贈られました。各会場では、各種団体による趣向を凝らした演芸が披露され、招待された皆さんは笑顔を見せるなど楽しい一日を過ごしていました。(写真右は船引町美山地区会場、写真左は常葉地区会場)



## 秋の全国交通安全運動 交通安全テント村で交通安全を啓発

交通安全を啓発するため、交通安全協会と交通安全母の会は交通安全テント村を行いました。

8月30日には、田村地区交通安全協会移分会会員18人がカーブミラー清掃を行った後、同分会と船引町交通安全母の会移分会の会員28人が船引町北移字六平沢地内でテント村を実施しました。(写真左)

秋の全国交通安全運動(9月21日～9月30日)の一環として、9月26日、船引交通安全協会と船引町交通安全母の会など約40人が船引公民館でテント村を実施、田村警察署と協力して交通安全の徹底を呼びかけました。(写真中央)

9月30日には、田村市交通安全協会と田村市交通安全母の会がセブンイレブン大越町店駐車場でテント村を実施、啓発物を配り、早めのライト点灯やシートベルト着用などを呼びかけました。(写真右)



## あぶくま洞秋まつり 秋の味覚とにぎわいのステージ

市の秋の魅力を発信する「あぶくま洞秋まつり2015」が9月26日と27日、あぶくま洞で開かれました。フルーツポンチや大西ライオンなどよしもと芸人や、パチッコリン、市の観光大使を務めるぺんぎんナッツによるお笑いライブ、地元滝根の女性で構成するあぶくま太鼓紅組や大越町の鬼五郎幡五郎太鼓保存会、川俣町の山木屋太鼓による太鼓演奏、妖怪ウォッチキャラクターショーなど多彩なステージを多くの来場者が楽しみました。

27日の中村美津子歌謡ショーには市内外から約6千人が訪れ、「長良川鶴情」「瞼の母」「島田のブンブン」など名曲が披露されると、歓声と拍手があぶくま高原に鳴り響きました。ショーの途中、中村さんはステージを降りて観客と触れ合い、ファンと絶妙な掛け合いを繰り広げるなど、笑顔があふれるステージとなりました。

模擬店のコーナーでは、山菜うどんや味ふかし、きのこ焼きや「きむコロ」(4・5ページに関連記事)などが販売され、市の秋の味覚に来場者のお腹も満たされました。



## 都路チャレンジ教室 ハンドリユーターに挑戦!

第3回都路チャレンジ教室が9月27日に開かれ、16人の子どもたちが参加しました。会津鶴ヶ城を見学した後、猪苗代町の「世界のガラス館」でハンドリユーターを体験しました。初めはガラスに器械で絵を描くのは難しかったようですが、器械の操作に慣れると、世界に1つだけのガラスが完成し、子どもたちは満足したようでした。



## スポーツ&カルチャー教室

### スポーツ吹矢を体験

平成27年度生涯学習スクール「スポーツ&カルチャー教室」として、スポーツ吹矢体験教室が9月9日・16日・30日の3日間にわたって船引公民館で開かれました。講師として日本スポーツ吹矢協会郡山支部長 石神弘先生を迎え、スポーツ吹矢の作法などを一から教わりました。受講生は集中して8m先の的と向き合い、チーム戦などを交えながらスポーツ吹矢を楽しみました。

